

# 「住まう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ】U&Iときめき課 ☎773-6659

## 南魚沼市で輝くひと（第28回）



たかむらまさこ  
高村雅子さん

今回は、竹俣地区にお住まいの高村雅子さん（東京都出身）を紹介します。

**Q** 南魚沼市に住むきっかけは？

**A** 主人が市内出身で、結婚前からいずれは南魚沼市へ戻りたいと相談されていました。当時東京で仕事をしていましたが、お米とお酒が好きだったので、移り住むことに抵抗はなかったです。長女を出産後、平成24年の春にこちらに移りました。

**Q** 南魚沼市に住んでみて、いかがですか？

**A** 移り住んですぐは、周りに知り合いもいなかったので子どもをベビーカーに乗せてよく散歩をしていました。そうすると、外で作業をしていた近所のおばあちゃんが話かけてくれたんです。都内だと歩いていると見向きもされなかったと思うので、南魚沼市には温かい心をもった人が多いなと感じました。

**Q** 困ったことはありましたか？

**A** 移動手段が車中心なことです。自動車運転免許は南魚沼で取りました。

**Q** 南魚沼市の魅力は？

**A** お米とお酒がおいしいことと、自然が豊かなことです。どこからも山が見渡せて、日本ならではのはっきりとした四季が感じられる貴重な場所です。

**Q** お仕事は？

**A** 平成28年から市内の「sayang<sup>サヤン</sup>」という美容室で美容師をしています。昔からの常連さんに名前を覚えていただいたり、自家製のお土産などのお裾分けをいただいたり、地域密着のふれあいができるのはとても良いですね。

**Q** 高村さんにとって大切なものは？

**A** 家族です。主人と子ども4人と暮らしています。美容師は土・日曜日に休みが取れない職業なので、続けるか悩んでいた時に、子どもから「美容師辞めないでね」と後押ししてもらい、美容師を続けることを決意しました。土・日曜日は、市内の主人の実家に子どもを預かってもらうこともあり、主人にも、主人の両親にも感謝していて、家族にはとても助けられています。

**Q** 生活を営む上で大切にしていることは？

**A** 夕食は家族みんなと一緒にとることです。子どもが大きくなり習い事や部活が始まって生活リズムがバラバラになっても、大事な習慣にしていきたいです。

**Q** 南魚沼市で暮らそうと考えている人に一言

**A** 子育てするには間違いない環境です。空気や水がおいしいし、人がごった返していない環境で育てられるのが良い点ですね。クモやカメムシなどここでは当たり前に見られる虫も、ここに来る前は私は実物を見たことがありませんでした。虫がたくさんいるのも、この空気や水がきれいな証拠だと思います。いろいろなものに触れて、四季を感じながら伸び伸びと子どもたちが育つことができる場所だと思います。

